

### 大型スポーツツアラー「NT1100」のカラーバリエーションを変更し発売

Honda は、「快適性」「多用途性」を高次元でバランスさせることで、日常の扱いやすさと長距離走行の快適さを両立した大型スポーツツアラー「NT1100」のカラーバリエーションを変更し、**2023年3月23日（木）**に Honda Dream より発売します。

- カラーバリエーションとして「ガンメタルブラックメタリック」を新たに設定



NT1100（ガンメタルブラックメタリック）

今回、大型スポーツツアラーに相応しい重厚感を感じさせる「ガンメタルブラックメタリック」を新たに採用。継続色の「マットイリジウムグレーメタリック」とあわせて全2色の設定としています。また、マフラーの外観仕上げは高級感を感じさせるヘアライン仕上げに変更しております。

NT1100は、低回転域から力強いトルクと高回転域までスムーズに回る特性を併せ持たせた排気量1,082cm<sup>3</sup>の直列2気筒エンジンを搭載し、一連の変速操作を自動化する「デュアル・クラッチ・トランスミッション（DCT）」を標準装備。また、走行状況に応じた出力特性のモードを選択可能としたライディングモードや、巡航時に便利なクルーズコントロールなど、各種装備を充実させています。さらに、アップライトなライディングポジションや、十分なストローク量を確保したサスペンション、手動で5段階に高さ調整可能な大型のウィンドスクリーンや防風性に配慮した形状のフェアリングなどにより、高速ツーリングにおける快適で上質なクルージングを求めるベテランライダーを中心に好評をいただいております。

- 販売計画台数（国内・年間） **300台**
- メーカー希望小売価格（消費税10%込み） **1,683,000円（消費税抜き本体価格1,530,000円）**

\* 価格（リサイクル費用を含む）には保険料・税金（消費税を除く）・登録などに伴う諸費用は含まれておりません

お客様からのお問い合わせは、オーハローバイク「お客様相談センター 0120-086819」へお願い致します。

## 主要諸元

通 称 名	NT1100	
車 名 ・ 型 式	ホンダ・8BL-SC84	
全 長 (mm)	2,240	
全 幅 (mm)	865	
全 高 (mm)	1,360 (スクリーン最上位置 1,525)	
軸 距 (mm)	1,535	
最 低 地 上 高 (mm)★	173	
シ ー ト 高 (mm)★	820	
車 両 重 量 (kg)	248	
乗 車 定 員 (人)	2	
燃料消費率※1 (km/L)	国土交通省届出値 定地燃費値※2(km/h)	30.5 (60) 〈2名乗車時〉
	WMTCモード値★ (クラス) ※3	19.3 (クラス3-2) 〈1名乗車時〉
最 小 回 転 半 径 (m)	2.8	
エ ン ジ ン 型 式	SC84E	
エ ン ジ ン 種 類	水冷4ストロークOHC(ユニカム)4バルブ直列2気筒	
総 排 気 量 (cm <sup>3</sup> )	1,082	
内 径 × 行 程 (mm)	92.0×81.4	
圧 縮 比 ★	10.1	
最 高 出 力 (kW[PS]/rpm)	75 [102] /7,500	
最 大 ト ル ク (N・m[kgf・m]/rpm)	104 [10.6] /6,250	
燃 料 供 給 装 置 形 式	電子式<電子制御燃料噴射装置 (PGM-FI) >	
始 動 方 式 ★	セルフ式	
点 火 装 置 形 式 ★	フルトランジスタ式バッテリー点火	
潤 滑 方 式 ★	圧送飛沫併用式	
燃 料 タ ン ク 容 量 (L)	20	
ク ラ ッ チ 形 式 ★	湿式多板コイルスプリング式	
変 速 機 形 式	電子式6段変速 (DCT)	
変 速 比	1 速	2.562
	2 速	1.761
	3 速	1.375
	4 速	1.133
	5 速	0.972
	6 速	0.882
減 速 比 (1次★/2次)	1.863/2.500	
キ ャ ス タ ー 角 (度) ★	26° 30'	
ト レ ー ル 量 (mm)★	108	
タ イ ヤ サ イ ズ	前	120/70ZR17M/C (58W)
	後	180/55ZR17M/C (73W)
ブ レ ー キ 形 式	前	油圧式ダブルディスク
	後	油圧式ディスク
懸 架 方 式	前	テレスコピック式 (倒立サス)
	後	スイングアーム式 (プロリンク)
フ レ ー ム 方 式	セミダブルクレードル	

■道路運送車両法による型式指定申請書数値 (★の項目は Honda 公表諸元) ■製造事業者/本田技研工業株式会社

※1 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞など) や運転方法、車両状態 (装備、仕様) や整備状態などの諸条件により異なります

※2 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です

※3 WMTCモード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果に基づいた計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます